

to The Next Stage >>>>>>

<<<<<< The Next Solution >>>>>>



当社新開発商品のご紹介

グローバル・ICT化時代への対応。
企業が保有する膨大な製品情報・技術情報を管理更新するアプリケーションを開発。
お客さま企業のニーズにお応えしています。

最新デバイスを利用した
データ配信を行いたい

ドキュメントコンテンツを
効率よく情報更新したい

情報をグローバルに
配信したい

Smart XML Creator[®]

日経BP社が主催する「スマートフォン&タブレット2013春」
2013年2月27日(水)～28日(木)開催に出展予定です。



※Smart XML Creator[®] イメージ

利用

最新の利用・配信方法に対応

- iOS/Android対応のアプリとして配信が可能です。
- コンテンツの特性に合わせた表現方法と対話型音声検索などの検索方法を実現します。

更新

情報の更新・配信が容易な アプリ化が可能

- コンテンツの情報更新に対応可能なアプリが簡単に生成できます。
- アプリ化によりグローバルな配信も容易になります。
- 各種翻訳システムとの連携によるグローバルな翻訳対応を実現します。

管理

データ文書管理の効率化

- データは、CMS[®]機能により管理されます。
- 版管理・履歴管理が可能です。
- データを流用した更新により業務効率化が図れます。

※コンテンツマネジメントシステム

株主の皆様へ



代表取締役社長 佐々 幸恭

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社は本年、創立50周年を迎えさせていただきました。これはひとえに皆様のご支援の賜物と、あらためて深く感謝申し上げます。つきましては、皆様への感謝の意味も込め、2012年9月期の配当金は、普通配当60円に記念配当10円を加え、1株当たり70円とさせていただきます。

今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。さて、当社グループは2012年9月30日をもって、第51期の事業年度を終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

震災影響からの回復および丸星の通年寄与により、増収・増益

当連結会計年度の売上高は、14,986百万円(前年同期比2,330百万円増、同18.4%増)、営業利益は1,230百万円(前年同期比545百万円増、同79.7%増)、経常利益は1,283百万円(前年同期比533百万円増、同71.1%増)、当期純利益は530百万円(前年同期比180百万円増、同51.7%増)となりました。

上記の結果となった要因として、売上高につきましては、主力のカスタマーサポート・マーケティングにおいて、丸星グループの通期にわたる業績寄与があったこと、および

自動車生産台数の上昇など震災からの回復の影響があったことにより、前年同期比増収の結果となりました。

一方、利益面につきましても、従来より得意分野であるカスタマーサポート・マーケティングの売上高の増加が大きかったことが、利益の絶対額を引き上げる主たる要因となりました。しかしながら、中国の関係会社に関する関係会社出資金評価損を主とした特別損失の計上および利益の増加にともなう法人税等の増加などがあり、当期純利益の伸び悩みが見られました。

事業分類

■ マーケティング事業 株式会社シイエム・シイ、丸星株式会社、Maruboshi Europe B.V.

インターナル・マーケティング

お客さま企業の従業員を
「売る気にさせる」

スタッフのセールス・サービス業務の標準化や、
商材教育・販売教育・技術教育等の企画・運営

カスタマーサポート・マーケティング

お客さま企業の商材を購入いただいた方に
「満足していただく」

使用説明書や修理書等、技術情報の企画・制作・編集および翻訳

その他

コンビニエンスストア店舗経営等

エクスターナル・マーケティング

お客さま企業の商材を魅力的に訴求し、消費者を
「買う気にさせる」

販売促進や広告宣伝、広報等の企画・運営

トータルプリンティング

お客さま企業の商材に関するマニュアルに特化した
「印刷サービスを提供する」

使用説明書や修理書等の印刷・製本・加工

■ システム開発事業 株式会社CMC Solutions

お客さま企業のICT^{*}に関する課題解決を
「トータルで支援する」

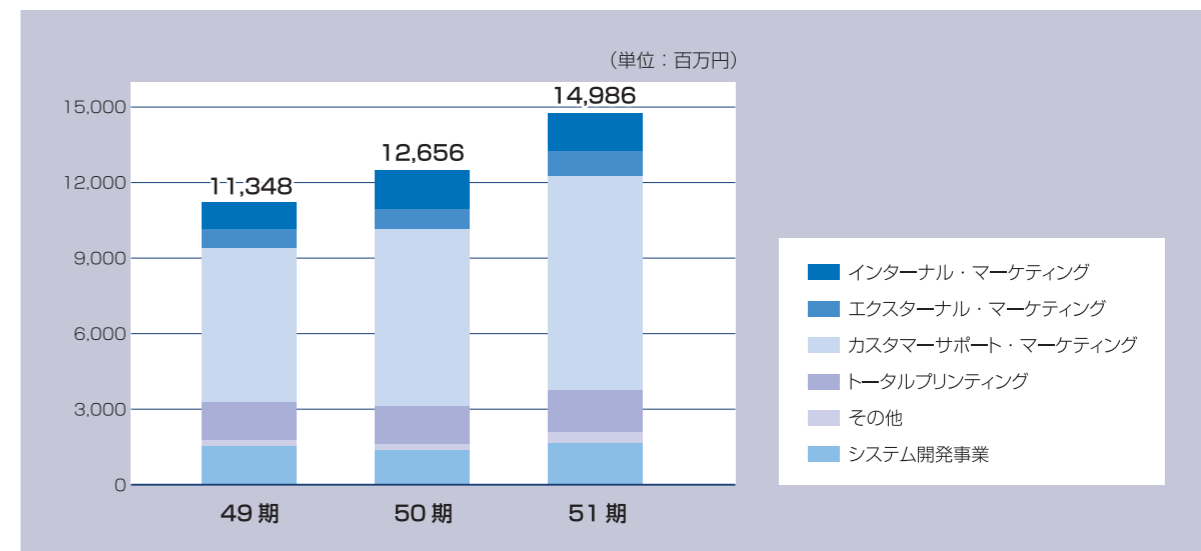
システムに関するコンサルテーション・構築・運用サポート

* ICT: [Information and Communication Technology]

■ 連結会計年度 事業分類別売上高推移

(単位：百万円)

	49期		50期		51期	
インターナル・マーケティング	1,248	11.0%	1,718	13.6%	1,571	10.5%
エクスターナル・マーケティング	860	7.6%	811	6.4%	1,048	7.0%
カスタマーサポート・マーケティング	5,965	52.6%	7,062	55.8%	8,553	57.1%
トータルプリンティング	1,377	12.1%	1,385	10.9%	1,631	10.9%
その他	200	1.8%	196	1.6%	452	3.0%
マーケティング事業	9,653	85.1%	11,174	88.3%	13,257	88.5%
システム開発事業	1,694	14.9%	1,481	11.7%	1,729	11.5%
合計	11,348	100.0%	12,656	100.0%	14,986	100.0%



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

業績の状況

■ マーケティング事業

売上高 13,257百万円 営業利益 1,370百万円

インターナル・マーケティングは、丸星株式会社の子会社化にともなう自動車業界向け教育案件の増加があったものの、前期に売上の大きかった業務効率化支援システム関連業務の減少および自動車の販売教育の減少が影響し、売上高は1,571百万円(前年同期比147百万円減、同8.6%減)となりました。

エクスターナル・マーケティングは、精密機器関連分野における販売促進案件の減少があったものの、自動車分野における試乗会案件や商品訴求映像制作、および住宅関連分野における販売促進イベント案件の増加などがあり、売上高は1,048百万円(前年同期比236百万円増、同29.2%増)となりました。

カスタマーサポート・マーケティングは、自動車向けの修理書を主とした企画・編集・制作業務の増加が大きかったこと、さらには丸星株式会社の寄与が大きくなり、売上高は8,553百万円(前年同期比1,490百万円増、同21.1%増)となりました。

トータルプリンティングは、自動車関連分野における使用説明書を主とした印刷の増加があり、売上高は1,631百万円(前年同期比246百万円増、同17.8%増)となりました。

その他については、コンビニエンスストア売上に加え、丸星株式会社の業務委託などの売上があり、売上高は452百万円(前年同期比256百万円増、同130.6%増)となりました。

これらの結果、マーケティング事業の売上高は13,257百万円(前年同期比2,082百万円増、同18.6%増)、営業利益は1,370百万円(前年同期比604百万円増、同78.8%増)となりました。

■ システム開発事業

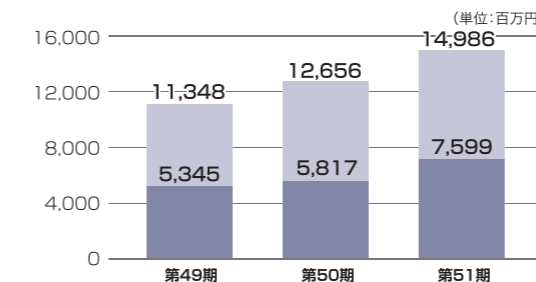
売上高 1,729百万円 営業利益 37百万円

ソフトウェア受託開発を主力とするシステム開発事業は、主要なお取引先からの受注案件の増加にともない、売上高は1,729百万円(前年同期比247百万円増、同16.7%増)となりました。営業利益は37百万円(前年同期比3百万円減、同9.1%減)となりました。

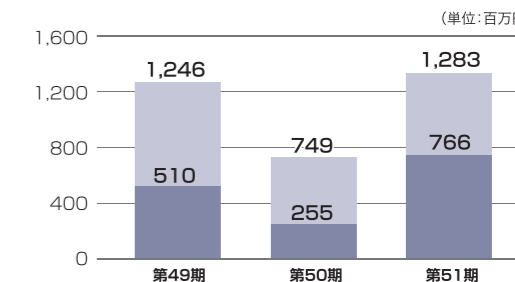
財務ハイライト (連結)

■ 中間期 ■ 通期

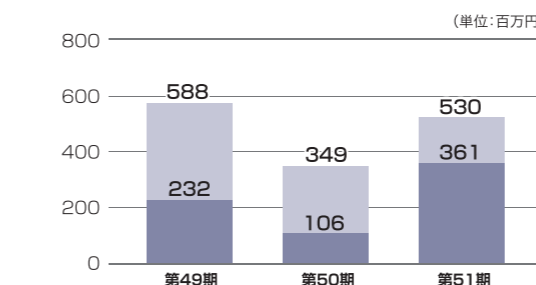
■ 売上高



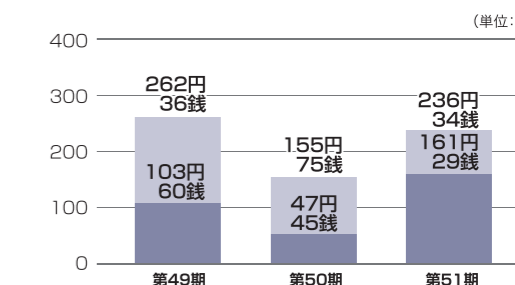
■ 経常利益



■ 当期純利益



■ 1株当たり当期純利益



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

売上高については、丸星グループの通期にわたる業績寄与があったこと、および自動車生産台数の上昇など震災からの回復の影響があったことにより、カスタマーサポート・マーケティング分野が増加いたしました。利益面におきましても、増収にともない利益額が増加し、前年同期比増益の結果となりました。

■ 1株当たり配当金

2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
20円	40円	60円	60円	70円

2012年9月期の配当金は、普通配当60円に創立50周年記念配当10円を加えた70円となりました。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

区 分	当期末 (2012年9月30日現在)	前期末 (2011年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	7,022	5,926
固定資産	5,084	5,068
有形固定資産	2,793	2,748
無形固定資産	1,292	1,286
投資その他の資産	998	1,033
資産合計	12,107	10,995
負債の部		
流動負債	2,621	1,961
固定負債	957	855
負債合計	3,578	2,816
純資産の部		
株主資本	8,538	8,142
資本金	529	529
資本剰余金	443	443
利益剰余金	7,565	7,169
自己株式	▲0	▲0
その他の包括利益累計額	▲9	35
純資産合計	8,528	8,178
負債純資産合計	12,107	10,995

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

区 分	当期 2011年10月1日から2012年9月30日まで	前期 2010年10月1日から2011年9月30日まで
売上高	14,986	12,656
売上原価	10,509	9,114
売上総利益	4,477	3,542
販売費及び一般管理費	3,246	2,857
営業利益	1,230	684
営業外収益	58	72
営業外費用	6	7
経常利益	1,283	749
特別利益	9	8
特別損失	70	33
税金等調整前当期純利益	1,221	724
法人税、住民税及び事業税	685	482
法人税等調整額	6	▲107
当期純利益	530	349

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

区 分	当期 2011年10月1日から2012年9月30日まで	前期 2010年10月1日から2011年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,898	463
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲301	▲1,161
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲138	▲896
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲21	5
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）	1,437	▲1,588
現金及び現金同等物の期首残高	2,162	3,750
現金及び現金同等物の期末残高	3,599	2,162

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

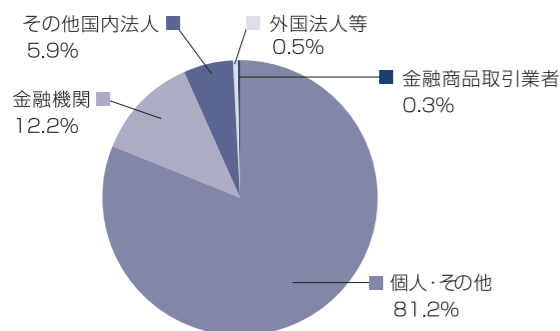
企業情報・株主メモ

(※企業情報は2012年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	7,970,000株
発行済株式の総数 (自己株式数278株を除く)	2,243,322株
株主数	831名

株式の分布状況



大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
佐々 香予子	468,600	20.9
林 幹治	287,110	12.8
シイエム・シイ従業員持株会	277,380	12.4
林 史子	110,000	4.9
トヨタ自動車株式会社	100,000	4.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	60,000	2.7
野村信託銀行株式会社(投信口)	50,100	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	46,600	2.1
株式会社三井住友銀行	40,000	1.8
鷲尾 美里	36,600	1.6

※持株比率は、自己株式278株を控除して算出しております。

会社概要

商号	株式会社シイエム・シイ
英訳名	CMC CORPORATION
本社所在地	〒460-0021 名古屋市中区平和一丁目1番19号
	TEL(052)322-3351 FAX(052)322-9548
設立	1962年5月
資本金	5億2,977万円
従業員	連結757名 単体441名
上場市場	大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)

役員

取締役会長	林 幹治
代表取締役社長 代表執行役員	佐々 幸恭
取締役執行役員副社長	関 誠
取締役常務執行役員	小林 淑記
取締役執行役員	成田 克己
取締役(非常勤)	龍山 真澄
常勤監査役	小泉 増明
監査役(社外、非常勤)	深見 裕康
監査役(社外、非常勤)	後藤 武夫
常務執行役員	棚橋 幸太郎
常務執行役員	田島 龍司
常務執行役員	近藤 幸康
常務執行役員	窪田 宏
執行役員	辻本 仁
執行役員	奥田 憲二

※辻本 仁氏は、2012年9月30日付で執行役員を退任いたしました。

連結対象子会社

株式会社CMC Solutions(名古屋市中区)
丸星株式会社(横浜市西区)
Maruboshi Europe B.V.(オランダ アムステルダム)

拠点所在地

[海外(12拠点)]
シンガポール、アメリカ合衆国(ロサンゼルス)、
中華人民共和国(広州2拠点、北京2拠点、上海)、オランダ(アムステルダム)、
フランス(ベルサイユ)、ポーランド(ワルシャワ)、タイ(バンコク)、台湾(台中)
[国内(8拠点)]
名古屋市中区2拠点・中川区、愛知県日進市・豊橋市、東京都中央区、
大阪市西区、横浜市西区

株主メモ

証券コード	2185
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	定時株主総会・期末配当: 毎年9月30日 中間配当: 毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 http://www.cmc.co.jp/

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。